

ふるさと春日部地域要望

緑町4丁目の信号機の変更

緑町4丁目のベルク前市営緑町住宅付近交差点の信号機が押しボタン式から通常の信号機に変更になり、平成24年1月20日から点灯開始となりました。

これは地元地域の皆さまからの要望をお聞きして、栗原信司春日部市議と連携して関係当局へ働きかけたものです。



南1丁目のカーブミラー設置

内谷陸橋下、ララガーデン方向からの車両の通行量が増えたため、以前からあった右側のミラーに加え、左側にも設置し、視界がよくなりました。



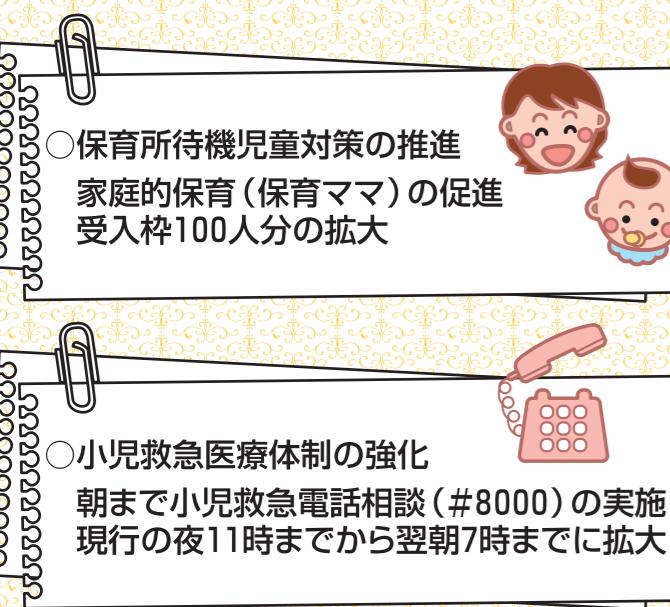
県道西金野井・春日部線の整備について一般質問で取り上げました。



春日部市市街から国道16号に接続する道路として、交通量も多く牛島交差点から下柳西交差点までの歩道が整備されていません。また、通学路にもなっており、朝夕は生徒と行き交う車で大変危険です。1月も早く牛島交差点から下柳西交差点までの歩道の整備が必要です。又、新幸松橋の架け替えの予定も合わせてその進捗状況と今後の予定を県土整備部長に質問いたしました。

【県土整備部長答弁要旨】
通学路に指定されていますが、幅員が狭く歩道が未整備となっているため、一部用地の取得をしております。強いて要望をいただいておりますので、安全な道路交通の確保に向けて、まずは橋りょうの架換工事から着手することにいたしました。

公明党埼玉県議団が県議会各定例会においてとりあげ、平成24年度予算案に反映されました。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



埼玉県議会議員 ごんもり幸男

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337

TEL・FAX 048-738-2364

ごんもり幸男 ゆき お 県議会ニュース



県政相談はお気軽に TEL・FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com

県議会2月定例会で 初の一 般質問に登壇!!



平成24年度予算案や、防災・医療・福祉・地元問題についてなど様々な角度から質問させていただきました。私は県政に送り出していくため全力で取り組んで参りますので、皆様の更なるご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

埼玉県議会2月定例会が開会となり、私、ごんもり幸男は2月28日に初めて一般質問に登壇させていただきました。



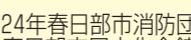
ごんもり幸男の主な活動についてご報告します

1月

2日(月) 新春街頭(於・春日部駅西口)



8日(日) 平成24年成人式(於・春日部市民文化会館)



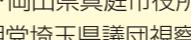
9日(月) 平成24年春日部市消防団出初め式(於・春日部市民文化会館駐車場)



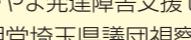
20日(金) 福島県双葉町民との懇談会(於・旧騎西高校)



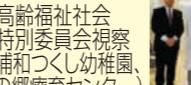
25日(水) 公明党埼玉県議団視察(於・岡山県真庭市役所)



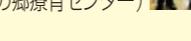
26日(木) 公明党埼玉県議団視察(於・岡山県玉野市役所、おかやま発達障害支援センター)



27日(金) 公明党埼玉県議団視察(於・岡山大学大学院・不妊専門相談センター)



30日(月) 少子高齢福祉社会対策特別委員会視察(於・浦和つくし幼稚園、中川の郷療育センター)



2月

7日(火) 文教委員会視察(於・学校法人加藤学園 晴秀初等学校(沼津市)) 加藤学園



8日(水) 文教委員会視察(於・八王子市立高尾山学園(八王子))



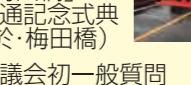
19日(日) 春日部警察署武里交番開所式(於・武里交番)



20日(月) 2月定例会開会(於・県議会議事堂)



25日(土) 主要地方道春日部久喜線「梅田橋」開通記念式典(於・梅田橋)



28日(火) 県議会初一般質問(於・県議会議事堂)

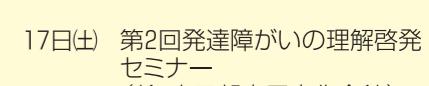


3月

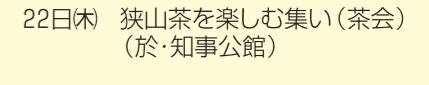
5日(月) 野田線複線化・大宮駅乗降客利便性向上議員連盟(於・東武野田線大宮駅)



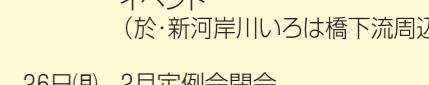
14日(水) 動物と共生する社会を推進する議員連盟(於・県議会議事堂)



17日(土) 第2回発達障がいの理解啓発セミナー(於・春日部市民文化会館)



22日(木) 狹山茶を楽しむ集い(茶会)(於・知事公館)



25日(日) 水辺再生100プラン合同完成イベント(於・新河岸川いいろは橋下流周辺)



不育症の支援について

ごんもり幸男質問

不育症とは妊娠しても流産、死産を繰り返してしまう。あるいは早期新生児死亡を2回以上繰り返す症例のことです。

不育症の周知について伺います。

不育症を広く知って頂くため、県のホームページで紹介したり、産婦人科などの医療機関への周知が必要であると考えますが、保健医療部長のご所見を伺います。

次に、「相談体制の整備」について伺います。

専門医の把握や紹介、患者さんの精神的なサポートやカウンセリングが出来る相談体制の整備が必要であると考えます。

そこで、専門相談員の配置について、保健医療部長のご所見を伺います。

次に、「経済的支援について」伺います。

不育症の治療には保険適用外の自費診療が多く、通常の出産費用より50万円ほど多くかかってしまいます。

不育症で苦しむ全国の多くの女性を経済的にも支援していくべきと考えますが、保健医療部長のご所見を伺います。

保健医療部長答弁

県のホームページで情報提供を行い、不育症の周知に努めています。

次に、「相談体制の整備について」でございます。

県の不妊専門相談センターでは、専門医が不育症の相談を受けております。

国は来年度から不育症専門の相談員の設置に補助することとしておりますが、具体的な内容は決まっておりません。

決まり次第、検討してまいります。

次に、「経済的支援について」でございます。

県といたしましては、一人でも多くの方が保険による治療を受けることができるよう、研究班において早期に原因を究明し有効な治療方法を確立していただけますように、国に要望をしてまいります。

不育症の支援充実を

不育症の支援充実を
H24.2.29 埼玉新聞

H24.2.29 埼玉新聞

ごんもり幸男

埼玉県議会2月定例会一般質問

質問要旨（抜粋）

「新たな森」について

ごんもり幸男質問

1月25日、春日部市大増新田地域に20ヘクタール（東京ドーム約4.2個分）規模の「新たな森」を県営公園として整備すると発表がありました。

目指す姿は①みどり再生のシンボルとなる森②地域の防災力を高める森③多世代が交流できる森④県民参画による環境教育の場としての森⑤県南東部の地域特性を活かした森とのことです。

是非とも地元市民、県民の皆様に喜ばれる公園にと考えますが、今後の予定と市民県民からの意見が反映出来る工夫、また、5つある目指す姿をどの様に具現化して行くのか都市整備部長に伺います。

都市整備部長答弁

「新たな森」整備の今後の予定でございますが、対象地域の現況調査を踏まえ、平成24年度は5つの目指す姿の具体化に向けてハード、ソフト両面から整備計画の策定を行うとともに、まずは区域決定に向けて、都市計画手続きを進めてまいります。

5つある目指す姿をどのように具現化していくかでございますが、この森づくりには、事業実施から維持管理までの各段階において、広く県民に参加していただく仕組みづくりを行ってまいります。

例えば、植樹については地元自治会や小中学校、高校、県内企業などに積極的に参加いただき、その後の管理もお願いしたいと考えております。

アレルギー性疾患の対策について

ごんもり幸男質問

「アレルギー性疾患の対策について」伺います。

昨年3月、厚労省から「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」が公表されました。

また、昨年8月、厚労省から「アレルギー疾患対策の方向性等」という指針が示されました。

この指針を受け、本県においても、アレルギー性疾患対策にどのように取り組んでいかれるのか、保健医療部長に伺います。

保健医療部長答弁

県では、患者や家族に対する講演会や保育所の職員、小中学校の養護教諭などを対象とした研修会を開催しており、自己の管理手法や、緊急時に注射をするエピペンの使用方法などの情報提供に引き続き努めています。

患者や家族が安心して生活できるよう、今後ともアレルギー性疾患対策を推進してまいります。



AEDについて

ごんもり幸男質問

公共施設や民間施設への設置数は十分であるのか、また、今後の設置計画について、どのような施設に優先的に設置するお考えなのか保健医療部長に伺います。



保健医療部長答弁

乗降客の多い駅やスポーツ施設などの中には、まだ設置されていない施設もございます。

このため、県といたしましては、これらの施設やコンビニに対し引き続き設置を働きかけてまいります。

又、県では、AEDを設置していただくに当たり、設置者に保守管理や更新の重要性について周知を図るとともに、耐用年数を迎えたAEDにつきましては個々に連絡をし、更新を促しております。

今後とも、AEDの設置を推進するとともに、保守管理や更新の徹底を図ってまいります。

ごんもり幸男質問

本県においては平成20年度から、社会奉仕体験などを通して思いやりの心や規範意識などの向上を目指す「ボランティアチャレンジプロジェクト」の推進を行っておりますが、大震災後の今だからこそ、被災地での災害復旧ボランティア活動を取り入れ、さらに、より多くの高校生が、災害復旧ボランティア活動に参加できる仕組みをぜひとも作るべきと考えますが、教育長のご所見を伺います。

教育長答弁

ボランティアチャレンジプロジェクト事業は、高校生が自らボランティア活動を企画し、社会奉仕活動等を行うことにより、社会性や豊かな人間性の育成を図るものであります。

今後は、この事業のメニューのひとつとして被災地ボランティアを取り入れることを学校に働きかけ、多くの高校生が参加できるよう努めてまいります。



質問が反映され県教育委員会から各高校に配布されます。

発達障がい児・者の支援について

ごんもり幸男質問

県は来年度の発達障がい児童・者への取組として、中核発達支援センターを新たに1か所、個別療育施設を県内4か所で実施するとありますが、具体的にどのように取り組まれるのでしょうか。福祉部長に伺います。

県は平成23年度から新たな成人期支援の取組として、発達障がい者の職業適性をみる就労準備アセスメントの実施、就労に係わる企業など事業所等訪問支援がスタートしました。

私はこの取組をさらに拡充するべきだと思います。成人期の就労支援において、どのような目標を立て、今後、取り組んでいかれるのか、福祉部長に伺います。

福祉部長答弁

県では、モデル事業の成果を他の市町村にも広げ、中核発達支援センターとあいまって全ての市町村で療育が受けられる体制づくりを進めてまいります。

次に、発達障がい者の成人期の就労支援についてでございます。

平成24年度は、「まほろば」が実施している就労支援のノウハウを全県に広めてまいりたいと考えております。

そのための研修を10か所の就業・生活支援センターや市町村障がい者就労支援センターなどの職員を対象に新たに実施をしてまいります。

発達障がい者が、特性に応じた就労支援をより身近なところで受けられるよう体制を整えてまいります。

その他

- 平成24年度予算案について
- 被災者支援と基金について

- 振り込め詐欺対策について
- 自転車総合対策について

質問いたしました。